



2007年12月20日

各位

会社名 小野薬品工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 是金 俊治
(コード番号 4528 東証・大証一部)
問合せ先 取締役広報室長 森本 公也
(TEL : 06-6263-5670)

会社名 日産化学工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 藤本 修一郎
(コード番号 4021 東証第一部)
問合せ先 経営企画部主査 宮崎 貴生
(TEL : 03-3296-8320)

血小板減少症治療薬についてライセンス契約を締結

小野薬品工業株式会社〔本社：大阪府大阪市中央区、社長：是金 俊治〕（以下、小野薬品）と日産化学工業株式会社〔本社：東京都千代田区、社長：藤本 修一郎〕（以下、日産化学）は、日産化学が創製した新規の血小板減少症治療薬に関するライセンス契約を締結しましたので、お知らせいたします。

今回のライセンス契約締結により、小野薬品は本剤の全世界における独占的な開発・販売権（海外においてはサブライセンス権を有する）を取得する一方、日産化学は小野薬品より契約に伴う一時金、開発段階に応じたマイルストーンおよび売上高に応じたロイヤリティの支払いを受けることとなります。

小野薬品は2009年に開始予定の第Ⅰ相試験に向けて、来年第1四半期にも本剤の前臨床試験を実施しますが、日産化学は原薬の開発・製造を担うなど、両社が共同して開発を進めてまいります。

血小板は、血液に含まれる血球成分の一つで、出血時の止血において重要な役割を担っています。例えば、特発性血小板減少性紫斑病や骨髓異形成症候群等の血液疾患では、この血小板数が減少することにより出血を起こしやすい病態（血小板減少症）を伴うことから、重度の場合には生命に関わることもあるといわれております。

また、がん化学療法／放射線療法やC型肝炎治療においてもこのような病態が認められることがあり、治療に難渋する場合もあるといわれております。

現在、日本においては血小板輸血が血小板減少症の一般的治療法として広く実施されておりますが、この血小板輸血には感染のリスクが伴うことや、また、昨今では血小板自体の供給不足も課題となっております。

本剤は、体内において血小板の産生を促進する造血因子であるトロンボポエチンの受容体を活性化することにより血小板を増加させる経口投与が可能な低分子化合物です。本剤については、既に基礎研究段階において有効性および安全性が確認されておりますことから、両社は、本化合物を血小板減少を伴う種々疾患の出血リスクの軽減に有効な薬剤として、また、血小板輸血に伴う感染リスクという課題を克服する薬剤として開発出来るものと期待しております。

以上